

令和5(2023)年度 事業計画

令和4(2022)年度事業の進捗と課題

①ふつくりあホイスコーレの安定経営

担当者(制)による関係機関への訪問や情報共有に努め、一般校との関係構築ができた
会計拠点を「びいはいふ拠点」に置くことで事業の開始を安定的かつスムーズに行うことができた

②職員倫理遵守と「良き支援者」をめざす職員教育の強化

虐待防止改善計画により、規程・マニュアルの見直し、委員会活動の充実、研修の強化に努めた
外部講師や内部研修により、福祉の基本、理念を学び、倫理と人権擁護を再教育し実践に活かす
職員個々に合わせた教育プログラムを組み立て実践につなげた(座学とOJTの実践)

③利用者の安全・安心

事故防止及び事故対応マニュアルの見直しと、感染防止、災害対策BCP計画の更新と周知徹底
コロナ感染予防の観点から外部講師の積極的活用は行わず、利用者ニーズの聞き取り、その効果を検証した
必要に応じ、これまで以上に家族状況との情報を精査し個別支援計画の作成に反映させた
虐待防止改善計画の取り組みに傾注するため内部監査は中止、次年度に繰り越した

④職員の安心・やりがい

ガイドヘルパー養成講座開設のための必要な情報を行政に提供し、協議を継続
職員個々の成果と貢献を反映することでやりがいを見出すのと同時に、法人の将来に渡る安定経営を念頭に、給与規程等の抜本的改正案を作成した
福利厚生制度の継続
感染予防から外部での階層別研修は実施することができなかったが、虐待防止改善計画における内部研修は階層別に実施できた
職員募集のためYouTube、ホームページ等SNSの活用は行ったが、大きな成果には繋がっていない
法人本部が中心となり業務支援ソフトに引き続き、勤怠管理のデジタル化を導入し、事務部門での業務省力化を一気に加速できた

⑤地域連携と協働・貢献

法人連絡会が主催する行事に積極的に参画することにより地域との触れ合いの機会が多くなった

令和4(2022)年度経営の課題

◆外部環境の変化

職員確保の困難さ
労働環境の向上への対応
社会情勢の不安定さ
物価高騰

◆内部環境の変化

人権擁護を中心とし職員教育の再構築
ホイスコーレ稼働による職員異動とメンバーの移籍
理事長常勤体制
保護者の高齢化や病気による家族支援の新たな対応
パート職員高齢化による退職、労働時間の短縮

令和5(2023)年度事業運営方針

①ふつくりあホイスコーレの安定経営

事業理念の徹底【『自分の人生を主体的に生きる』ための学びの場】
利用者増員のための啓発活動と、一般校、引きこもり支援団体等への積極的勧誘
「人間力を高める」ための独自の支援プログラムの構築と「地域住民講師」の発掘

②中長期計画作成への着手

安心して暮らすことのできる生活の場づくり
就労事業における独自性の確立(施設外就労活動の充実)
目的遂行と経営基盤安定のための「社会福祉連携推進法人制度」の研究

③利用者の安全・安心

生活介護事業のプログラムの見直しと作業環境の整備
事故の未然防止・あらゆる災害を想定した事業継続計画(BCP)の作成と修正
職員の資質向上のため職員研修の内容のブラッシュアップを実施

④職員の安心・やりがい

職員それぞれの長や能力が発揮できる職場環境と具体的役割の提供
法人の継続的成長と組織の更なる活性化を目的とした人事考課制度の活用
中長期計画に則した職員採用計画の作成

⑤地域連携と貢献

特定相談支援事業所協働体制の充実
伊賀市社会福祉法人連絡会への積極的参画

令和5(2023)年度事業収支計画

令和4年度資金収支予算(案) 令和5年度当初資金収支予算(案)
(第3次補正) 単位:千円

収入420,639千円	収入422,091千円
事業活動収入414,402 福祉事業 340,475 就労事業 73,927	事業活動収入418,192 福祉事業 344,314 就労事業 73,878
施設整備等 6,196	施設整備等 3,774
	その他の活動 125
支出440,197千円	支出421,196千円
事業活動支出406,467 福祉事業 333,664 就労事業 72,803	事業活動支出407,656 福祉事業 337,033 就労事業 70,623
施設整備等 31,506	施設整備等 11,880
その他の活動 2,224	その他の活動 1,660

収支差▲19,558千円

収支差895千円

◆ 考察

新規利用者4名
福祉医療機構借入ふつくりあ分返済完了
外国人(フィリピン)介護士の採用

◆ 投資・修繕事業

モオンマール 急速冷凍庫購入(補助申請) 予算 5,000千円
ひまわり のり面補修 予算 500千円
モオンマール 自動扉修理 予算 450千円

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



社会福祉法人雑雅幸育会は、国連が2030年までに達成をめざす「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的に福祉事業に取り組みます。そして、SDGsについて様々な角度から考え、SDGsが掲げる「誰も置き去りにしない」世界の実現を目指します。

事業推進重点施策

《事業運営方針に基づく重点項目》

①ふつくりあホイスコーレの安定経営

・新規利用者増員のため、一般高校やひきこもり支援団体との関係づくりに尽力する
・SNSを活用した情報発信に努める

②中長期計画作成への着手

・日中一体型の生活の場(日中支援型GH、入所施設等)確保及び生活介護事業のあり方について検討する
・当会の福祉サービスの特長「施設外就労」を安定的かつ確固たるものに位置づける

③利用者の安全・安心

・災害や感染症における事業継続計画(BCP)の見直し
・介護職員確保のため、外国人(フィリピン人)介護士の採用を実施
・職員研修については「良き支援」のため、基礎編から内容を見直して実施

④職員の安心・やりがい

・給与規程と人事評価規程の抜本的見直し
・監督職・現場リーダーのマネジメント力の育成(研修の充実・委員会や大行事の運営等)
・福利厚生制度の継続
・SNSを活用した職員採用と学校訪問

⑤地域連携と貢献

・法人連絡会及び自立支援協議会への積極的な参画と、特定相談支援事業所協働体制の充実

《各事業所・部門重点項目》

【上野ひまわり作業所】(生活介護・B型)

・Greenlife企画の活動と商品の充実(創作・園芸・組みひも等)
・地域の文化芸術活動への積極的な参加
・特別プログラムのニーズの整理と実施方法の見直し(個人活動との整理)
・利用者主体の生産活動の見直し(施設外就労のニーズ把握・組みひも作業・販売・作業環境の整備)

【びいはいふ】(B型)

・経済的自立をめざした高い工賃の支給(目標 標準月額工賃80,000円)
・施設外就労活動を利用者主体に転換すると共に、法人内外の利用者等の実習のとして提供
・ホイスコーレと連携したSSTの実施 ・家族・地域・関係機関に向けての活動の周知
・菖蒲池の建物管理

【ふつくりあハウズ】(B型・移行・定着)

・移行・定着は令和6年度に廃止しホイスコーレに統合、B型単独型(定員20人)に変更予定
・内働作業の充実(委託作業の開拓・ウエス作業の拡大)と共に、作業環境の見直し
・ホイスコーレと連携したSSTの実施
・休日レクにて運動プログラムを実施
・一般就労後の定着支援として、OBOG会を開催

【ふつくりあアウス】(生活介護・生活訓練)

・定員の変更(生活介護14人・生活訓練6人)
・健康増進のための運動プログラム(体重コントロールの実施)
・特別活動を利用者のニーズに基づき整理(外部講師枠・四季に応じたプログラム等)
・生活訓練:医療や他機関との連携を強化し、精神障害のある人等の受け入れを積極的に行う。病気の理解・体調管理・生活リズム・日常生活の過ごし方等のプログラムを取り入れる

【ふつくりあモオンマール】(A型・B型)

・施設外就労活動の充実(聴覚障害・外国人・育児両立等多様な利用者への支援)
・A型の平均労働時間の見直し
・製パン部門に冷凍機を導入し冷凍商品を開発、生産量を150%に増...予算 5,000千円
・製菓製パン商品価格の再見直し

【ふつくりあホイスコーレ】(生活訓練・就労移行)

・一般就労へ向けての施設外就労の職域拡大(高齢者施設等)
・訓練プログラムの充実(調理実習を通しての食育・月間保健目標の設定・体力づくり)
・アピリンピックへの積極的参加
・生活・余暇支援:社会見学・サークル活動(サッカー部の創設)・一人暮らしの疑似体験等
・外部講師も含めた定期的な支援会議の実施

【特定相談】

・相談支援協働体制により、支援困難ケースへの積極的な対応、地域と連携し本人の意思を中心に据えた質の高いマネジメントを提供
・契約件数の増(目標 前年比150%) ・相談業務の事務部門の効率化・スリム化

【グループホーム】

・外国人介護士を迎えるための支援体制の見直し
・住人個人の余暇支援の充実(移動支援の利用等)と行事の実施
・感染防止対策及び防災対策の見直し

【事務】職員の労務管理と給与計算のシステム変更とスムーズな運用

【医務・ヘルパー】利用者のニーズに対応するため、ヘルパー及びガイドヘルパーを増員

【給食】感染対策を講じた「共食」を実施し、「食べることの楽しみ」を供与する

【全体事業】

・虐待防止の取り組み及び研修の継続
・greenlifeプロジェクトの位置づけを検討する
・日帰り旅行の実施 ・新年会の開催 ・二十歳の集い・遷居祝賀会の開催
・ひまわりバザーに代わるイベント企画を協議する

【事業所更新】 上野ひまわり作業所 9/30